

## 社会奉仕委員会アワー

### ●国際ロータリー第 2680 地区

社会奉仕委員会 社会奉仕小委員長 小坂 圭一様



本日は卓話のご依頼を頂きありがとうございます。

2680 地区社会奉仕委員会 社会奉仕小委員長の小坂と申します、所属クラブは尼崎東 RC です。

自己紹介としてですが、RC への入会のきっかけは、よくある話ですが、JC の理事長年度にお世話になったシニアクラブ会長の強い勧誘があったことです、ちなみにその年度 1994 年の龍野 JC の理事長はヒガシマル醤油(株)の片岡淳さんでした、こちらのクラブの会員とお聞きしています。

また、尼崎と龍野は醤油醸造でのつながりがあります、江戸時代から尼崎では醤油醸造が盛んで明治の中頃までは 15 の醸造所がありましたが、大正の中頃から半減し、戦後に最後の醸造所の消滅を持って尼崎の醤油醸造は幕を閉じました。そのことを惜しむ地元有志によって昭和 60 年に「尼の生醤油保存会」が誕生し銘醸の復活が成し遂げられ、現在はここ龍野のヒガシマル醤油(株)さんで製造をしていただいています、少量ですが販売もしていますので、是非、尼崎へお立ち寄りの折にはお買い上げ頂き、龍野の地元のお醤油と味比べをしてみてください。

さて、本題であります、地区内での社会奉仕事業のお話や、補助金事業についてのお話について、つたないスピーチですがお付き合いください。

まず、地区内における社会奉仕事業ですが昨年の社会奉仕アンケートについてご報告させていただきます。

2021-22 年度では事業実施クラブは 44 クラブあり、内 14 クラブが補助金プロジェクトでした、ほかに奉仕プロジェクト特別会計支援金事業が 2 件あり、クラブ独自の実施事業が 30 クラブ 43 件ありました、この数字から 1 クラブで複数の社会奉仕事業をされるクラブがあることがわかります。残念ながら、コロナや台風の影響で、補助金事業を中止されたクラブが 3 クラブあり、補助金を返上しクラブ独自事業へ変更実施されたクラブが 2 クラブありました。

事業内容を分析しますと、青少年関係の事業が延べ 16 件有り、一般市民対象や社会インフラ関係の事業が 15 件ありました。地区内の事業傾向は、青少年や、社会人向けや、寄付寄贈型の事業や事業開催型の事業、提供型の事業や参加型事業と大別でき、その集約点が社会奉仕事業となりますが、その規模により、事業費規模と手続きのめんどくささの天秤で補助金申請に至るか否かを悩まれています。その部分を社会奉仕小委員会はお手伝いさせて頂いています、是非申請をご検討ください。

申請時や報告時の実例のお話は、社会奉仕小委員会の内部資料であります「予備審査ガイドライン」をご参照頂きたいのですが、補助金の最終審査が財団に委ねられていることから、最低限度の必要事項が最終的に英語に翻訳され、日本の財団事務所から RI に送られることから、補助金を何のために使うのか、使用目的や対象など具体的に表現されることを要求されています、卓話では雑ぱくなお話としてご披露いたしましたが、ご参考として頂ければ幸いです。

最後に、貴クラブの本條さんのスライドから拝借しましたアーチクラフのお話も、その資料より私見で申し上げました、寄付（お金＝資金）＊補助金の事業＊RC の存在意義（価値）の部分は、あくまで私の私見でありますことを申し上げて、卓話のレポートとさせていただきます。ありがとうございました。